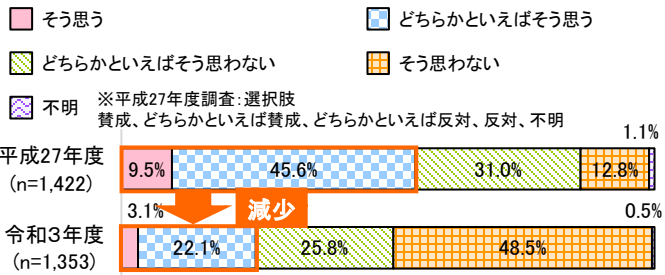
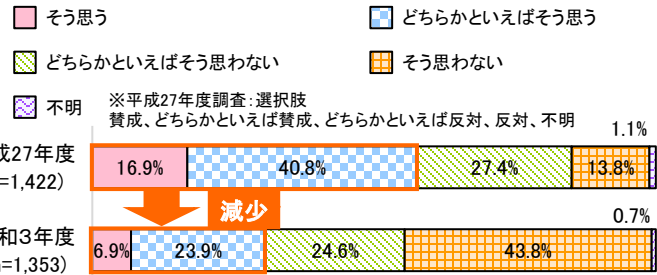


1. 松山市の現状

「夫は外で働き、妻は家庭を守った方がよい」という考え方について(*)



「地域のリーダーは男性の方が向いている」という考え方について(*)

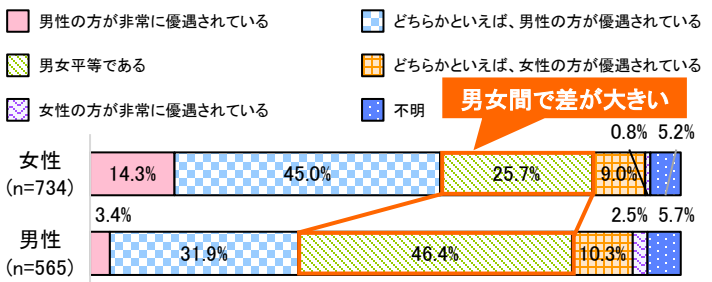


1日あたりの平均的な時間の使い方(*)

		女性	男性
家事	平日	3時間03分	1時間16分
	休日	3時間40分	1時間49分
育児	平日	1時間40分	0時間22分
	休日	2時間26分	1時間15分
介護	平日	0時間16分	0時間14分
	休日	0時間28分	0時間18分
就労	平日	5時間54分	7時間39分
	休日	0時間37分	0時間49分

男性の家事・育児時間(休日)は女性の半分

家庭での男女の平等感(*)

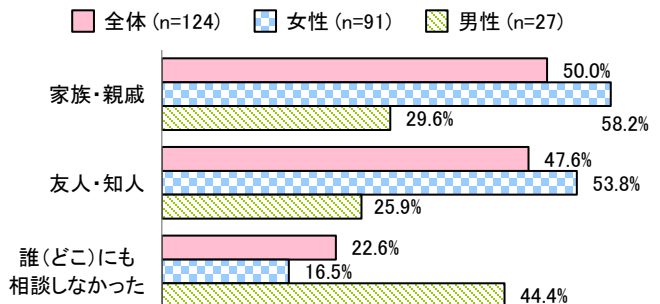


2. 主要課題ごとの現状と目標

1 主要課題 男女の人権の尊重 ~互いを理解し尊重します~
 ◆ あらゆる暴力の根絶を目指します
 ◆ 生涯の健康づくりを支援します
 ◆ メディア・リテラシーの向上を推進します

【数値目標】
 > ドメスティック・バイオレンス被害を誰(どこ)にも相談しなかった人の割合
 令和3年度 22.6% → 令和10年度 **減少**

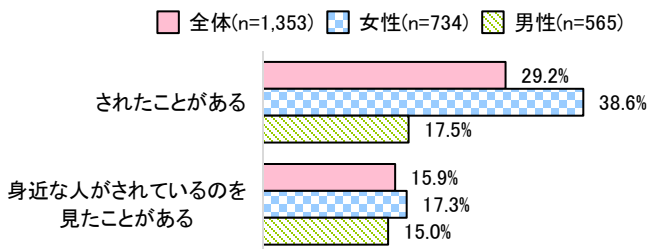
配偶者や交際相手からの暴力の相談先(*)



2 主要課題 社会制度・慣行の見直しと意識改革 ~豊かに暮らせる社会を目指します~
 ◆ アンコンシャス・バイアスによる悪影響の解消に取り組みます
 ◆ 多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる環境を整備します

【数値目標】
 > 固定的性別役割分担意識に賛成の割合
 令和3年度 25.2% → 令和10年度 **減少**

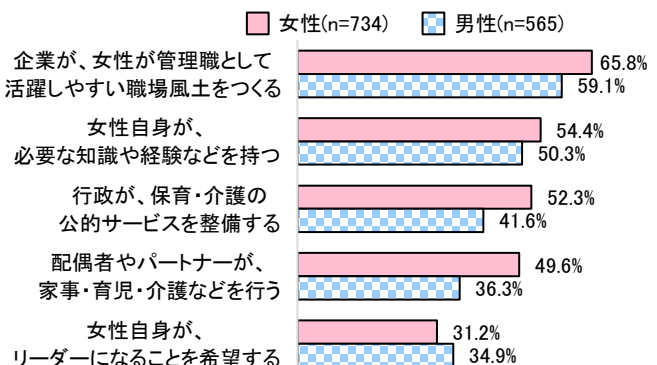
「男性だから」「女性だから」という性別に基づく無意識の思い込みや偏った考え方(性別役割分担意識も含む)の経験の有無(*)



3 主要課題 方針決定過程への女性の参画拡大 ~多様な意見が反映される社会を目指します~
 ◆ 審議会等や市の管理監督者への女性登用を促進します
 ◆ 地域活動や職場での女性活躍を推進します

【数値目標】
 > 審議会等への女性の登用率
 令和4年4月1日 44.1% → 令和11年4月1日 **50%**
 > 市職員の管理職(課長級以上)に占める女性の割合
 令和4年4月1日 11.4% → 令和7年度 **12%以上**

職場で女性の管理職が増えるために必要なこと(*)



仕事と生活の調和

～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～

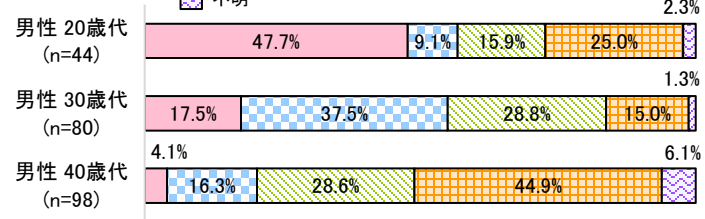
- ◆ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を進めます
- ◆ 男性の家庭・地域社会での活躍を促進します **New**
- ◆ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います **New**

【数値目標】

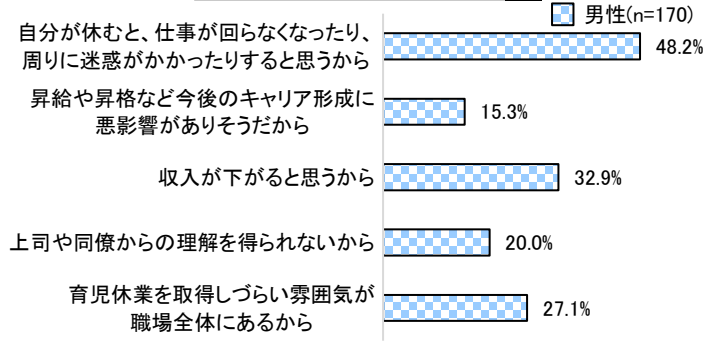
- 市職員の育児休業を取得する男性の割合
令和3年度 35.7% → 令和7年度 **30%以上**
- 保育所等利用待機児童数
令和4年4月1日 0人 → 令和10年度 **0人**
- 放課後児童クラブ入会児童数
令和3年度 5,347人 → 令和6年度 **6,439人**
- この1週間、バランスの良い時間の使い方ができた人の割合
令和3年度 51.5% → 令和10年度 **増加**
- 男性の1日あたりの平均的な家事・育児時間(休日)
令和3年度 女性の50% → 令和10年度 **増加**
- まどんな応援企業数
令和3年度 85 → 令和10年度 **100**

育児休業の取得について(*)

- 取得しようと思っている
- 取得したいが、できない
- 取得しようとは思わない
- 今後、取得の必要はない / すでに取得済みである
- 不明



育児休業を「取得したいが、できない」または「取得しようとは思わない」理由(*)



地域防災分野での男女共同参画

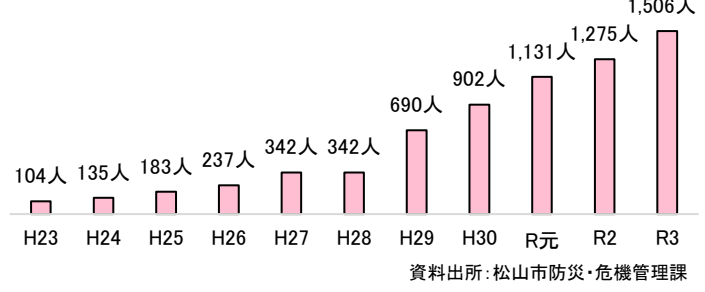
～災害時こそ互いを配慮します～

- ◆ 意思決定過程への女性の参画を進め、地域防災力を強化します
- ◆ 男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制を確立します

【数値目標】

- 防災士に占める女性の割合
令和3年度 20.5% → 令和10年度 **23.0%**

女性防災士登録者数



教育分野での男女共同参画

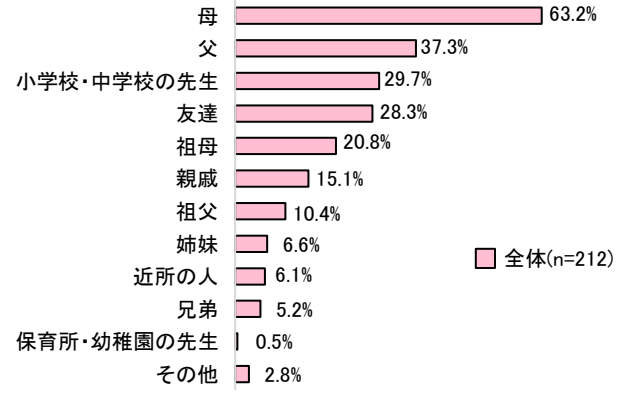
～豊かな人間性を育む教育を目指します～

- ◆ 男女平等の教育を推進し、様々な学びの場を提供します
- ◆ 多様な選択ができるよう生涯学習や能力開発を推進します

【数値目標】

- 松山市男女共同参画推進センター 各種啓発事業への参加者数
令和3年度 1,596人 → 令和10年度 **4,000人**
- 松山市男女共同参画推進センター 各種啓発事業への30代以下の参加者数
令和3年度 692人(推計値) → 令和10年度 **1,200人**

「女の子だから…」や「男の子だから…」と言われた相手



資料出所: 令和元年度「中学生の男女共同参画に関する意識調査」

3. 全体の数値目標

【男女の地位の平等感】

